

2022年12月16日

各位

会社名 ワンダープラネット株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 常川 友樹
(コード番号：4199 東証グロース)
問合わせ先 取締役 CFO 佐藤 彰紀
TEL. 052-265-8792

第三者割当による新株式の発行及び主要株主の異動に関するお知らせ

当社は、2022年12月16日開催の取締役会において、Happy Elements 株式会社（以下「Happy Elements」又は「割当予定先」という。）への第三者割当による新株式の発行（以下「本第三者割当」という。）を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本第三者割当に伴い当社の主要株主の異動が見込まれますので、併せてお知らせいたします。

記

I. 本第三者割当による新株式発行

1. 募集の概要

(1) 払込期日	2023年1月5日
(2) 発行新株式数	当社普通株式 350,000株
(3) 発行価額	1株につき1,222円
(4) 調達資金の額	427,700,000円 発行諸費用の概算額を差し引いた手取概算額については、下記 I. 本第三者割当による新株式発行 3. 調達する資金の額、 使途及び支出予定時期をご参照下さい。
(5) 募集又は割当方法 (割当予定先)	第三者割当の方法によります。 (Happy Elements 株式会社)
(6) その他	上記各項については、金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力発生を条件とします。

2. 募集の目的及び理由

当社は、「楽しいね！を、世界中の日常へ。」というミッションを掲げ、世界中の一人でも多くの人々の日常に、家族や友達と「楽しいね！」と笑いあえるひとときを届け、国・言語・文化・年齢・性別などあらゆる壁を越えて誰もが楽しめるプロダクト・サービスを創り、コミュニケーションを通じた「笑顔」を世界の隅々まで広げることを目指しております。

当社は、国内市場及びグローバル市場をターゲットにしたスマートデバイス向けアプリ・ゲームの企画・開発・運営・販売を始めとするエンターテインメントサービス事業に注力しており、既存タイトル・サービスについては、中長期にわたる安定運営による収益の維持、新規タイトル・サービスについては、世界中の人々へさまざまな楽しさや感動、新しい体験を届けるため、ユーザーニーズの的確な把握や、ニーズに合ったプロダクトの開発・提供、効果的なプロモーション、多種多様なパートナーとの協業による事業機会の拡大を積極的に推進するとともに、開発スケジュールや費用の管理を徹底する方針です。

近年、当社を取り巻く事業環境は、スマートデバイスの高性能化及びユーザーニーズの高度化や多様化に伴い、アプリ・ゲーム開発における期間の長期化及び開発費の高騰が顕著となっているほか、事業の特性上、サービスリリース後の運営においても継続的にアップデートを行うことが長期的なユーザー満足度の向上には欠かせない要素となっております。また、効果的なユーザー獲得のため、様々なメディアを活用した高額な広告宣伝費が必要なケースが増加しており、これらにより多額の運

転資金が必要になっております。

このような中、当社は、2022年7月に自社開発（オリジナル）タイトルである「アリスフィクション」をリリースし、一定規模のユーザー獲得に向けた施策の一環として大型の広告投資を行いました。想定していたユーザー数を獲得することができず、また、リリース後に発生した不具合の影響もあり、2022年8月期における同タイトルの実績は想定を下回りました。「アリスフィクション」の実績が想定を下回ったこと等により、2022年8月期の売上高は3,422,040千円（前年同期比4.6%減）、営業損失は1,272,138千円（前事業年度は営業利益260,618千円）、経常損失は1,291,273千円（前事業年度は経常利益261,057千円）となり、当期純損失は、繰延税金資産を一部取崩し、法人税等調整額を591,419千円計上したことにより、1,887,307千円（前事業年度は当期純利益825,457千円）となりました。また、2022年8月期末の現金及び預金は、前事業年度末に比べ643,822千円減少し、1,203,499千円となりました。2023年8月期においては、新規開発投資を行いながらも既存タイトルにおける広告費や外注費等の費用コントロールを行い効果的な資金の使用に努める方針ですが、一方で中長期での事業成長・拡大に向けた新規タイトル・サービスの開発を継続する際に必要となる資金を確保することが重要であると考えています。

本第三者割当の相手先となるHappy Elementsは、中国を拠点とするモバイルゲーム事業を展開する企業グループの日本法人であり、「MAKE THE WORLD HAPPY! — ゲームを通じて世界を幸せに」というビジョンを掲げ、モバイル向けゲームコンテンツ・サービスの開発、運営を行っており、「あんさんぶるスターズ!!」、「メルクストーリー」、「エリオスライジングヒーローズ」といった複数のヒットタイトルを有しています。2016年12月頃から業界内での交流を通じて知己であったHappy Elements代表者と当社代表者の間で、業界動向やゲーム開発・運営に関する情報交換を定期的に行ってまいりましたが、2022年9月頃から前述の当社状況や経営方針等を説明し、本第三者割当への協力を依頼していたところ賛同が得られた次第です。本第三者割当実施後につきましては、業務面における両社の関係性を強化することを視野に入れた検討を進めてまいります。

当社としては、新たなヒットタイトルを創出することでタイトル・サービスの開発・運営における知見やノウハウを高め、当社のポートフォリオ戦略の幅を広げることが今後の事業戦略上、特に重要であると位置づけております。本第三者割当により調達する資金を2022年8月期より進行中の新規タイトルの開発及び2023年8月期より開発開始予定の新規タイトルの開発費用に充当することで、事業戦略の一環として今後の収益基盤の一つとなる新規タイトルの創出に繋げ、継続的な事業成長の足掛かりとし、企業価値の向上を目指してまいりたいと考えております。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

① 払込金額の総額	427,700,000円
② 発行諸費用の概算額	9,550,000円
③ 差引手取概算額	418,150,000円

(注) 1. 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。

2. 発行諸費用の概算額の内訳は、アドバイザー手数料、登記費用、割当予定先等調査費用及び有価証券届出書作成費用等であります。

(2) 調達する資金の具体的な使途

上記差引手取概算額418,150,000円については、以下の内容に充当する予定であります。

具体的な使途	金額(円)	支出予定時期
開発中及び開発開始予定の新規タイトル開発に係る人件費、外注費	418,150,000	2023年1月～2024年2月

当社が事業展開するエンターテインメントサービス関連の市場においては、ユーザーの趣味嗜好の多様化やデバイスのスペックや通信技術の向上、グローバル化がより一層進行し、近年の世界のモバイル向けゲーム市場を取り巻く競合環境の変化が以前にも増して著しくなっております。これらにより、人件費、外注費等の新規タイトルの開発費用の増加、開発期間の長期化が進行しているほか、サービスリリース後の運営においても継続的にアップデートを行うことが長期的なユーザー満足度の向上には欠かせない点や、効果的なユーザー獲得のため、様々なメディアを活用した高額な広告宣伝費が必要なケースがある点から、ヒットタイトルの創出や長期運営のため、より多くの資金が必要となっている状況です。その一方で、当社の2022年8月期の経営成績は、主に2022年7月にリリースした新規タイトル「アリスフィクション」や既存タイトルの一部が当初計画を下回ったこと、「アリスフィクション」にかかる広告投資を当初計画を超えて実施したこと等により、2022年8月期に大幅な損失を計上しました。その結果、2022年8月期末の現金及び預金は前事業年度末に比べ643,822千円減少して1,203,499千円、純資産額は前事業年度に比べ1,937,588千円減少して427,868千円となり、有利子負債の残高は、前事業年度末に比べ756,791千円増加し1,193,878千円となりました。2023年8月期においては、新規開発投資を行いながらも既存タイトルにおける広告費や外注費等の費用コントロールを行い効果的な資金の使用に努める方針ですが、上半期においては費用先行が継続する見込みであること、また、今後の各タイトルの売上や費用の動向には将来の予測を含んでいることから、今後の成長に向けた複数のタイトル開発に必要な資金として手許資金の水準は十分なものであるとは言えず、早期かつ安定的に資金を確保する必要性が生じています。このような状況下、当社としましては、新たなヒットタイトルを創出することでタイトル・サービスの開発・運営における知見やノウハウを高め、当社のポートフォリオ戦略の幅を広げることが今後の事業戦略上、特に重要であると位置づけております。本第三者割当により調達する資金は、2023年1月から2024年2月にかけて2022年8月期より進行中の新規タイトルの開発及び2023年8月期より開発開始予定の新規タイトルの開発にかかる人件費135,717千円及びイラストなどの制作、品質保証等の外注費282,433千円に充当する予定です。なお、当社では新規タイトル開発において、タイトル毎に人件費及び外注費の予実管理を行っていることから、本第三者割当により調達する資金は記載した使途に充当できるものと考えております。調達資金を実際に支出するまでは、銀行口座にて管理いたします。また、手取金の使途等に重要な変更があった場合は、法令等に従い適時適切に開示いたします。

本第三者割当にあたり、借入や社債発行等の有利子負債による資金調達も検討いたしました。これまで、既存のリリース済タイトルについては、当社の過去のタイトル開発実績や運営実績により、将来の見通しに一定の蓋然性を見いだすことができ、それらの新規開発資金や運転資金として有利子負債による調達を行うことが可能な状況でした。しかし、現在の市場環境においては、ユーザーの趣味嗜好の多様化やデバイスのスペックや通信技術の向上、グローバル化がより一層進行し、業界全体として新規リリースにおけるヒットタイトルの創出がより困難な状況になりつつあり、新規タイトル開発に有利子負債により調達した資金を投下した場合、リリース後に投下資金を回収し返済・償還原資を確保することが可能か、その蓋然性を合理的に見積もることが困難であること、また、当初は新規タイトル開発に必要な資金を手許資金及び有利子負債による調達資金から充当することを想定していましたが、前述のとおり2022年8月期において当初計画を下回る業績推移となり当期純損失を計上したことに伴い、現金及び預金が前事業年度末に比べて減少し、有利子負債は現金及び預金と同等の水準まで増加していることから、借入や社債発行による追加の運転資金の調達は将来的な返済リスクを伴い、実施が困難であると考えております。したがって、今後の成長に向けた長期かつ安定的な資金として資本による調達を行うこととしました。また、資本金のある資金調達手段として公募増資やライツ・オフリングといった方法も考えられるものの、これらの方法では調達コストが相対的に高まることや手続きの準備にかかる期間が長期化すること等も考慮し、現時点において合理的でないと判断しております。一方で、第三者割当増資を行う場合には、株式の希薄化が生じることとなりますが、本第三者割当における新規発行株式数350,000株（議決権数3,500個）は、2022年8月31日現

在の当社発行済株式総数 2,200,412 株（議決権総数 21,506）の 15.91%（議決権総数に対し 16.27%）

（小数点第三位を四捨五入）に相当し、一定の希薄化が生じます。しかしながら、本第三者割当により調達する資金は、2022 年 8 月期より進行中の新規タイトルの開発及び 2023 年 8 月期より開発開始予定の新規タイトルの開発費用に充当することで、事業戦略の一貫として今後の収益基盤の一つとなる新規タイトルの創出に繋げ、継続的な事業成長の足掛かりとし、企業価値の向上を目指すものであり、最終的に既存株主の利益向上に繋がるものと考えているため、本第三者割当による発行数量及び株式の希薄化の規模は合理的であると判断いたしました。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

前記「I. 本第三者割当による新株式発行 3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期（2）調達する資金の具体的な使途」に記載の資金使途に充当することにより、当社の企業価値の向上に繋がるとともに、既存株主の皆様の利益向上にも資するものと考えており、本第三者割当の資金使途については合理性があると判断しております。

5. 発行条件等の合理性

（1）払込金額の算定根拠及び合理性に関する考え方

本第三者割当の発行価格につきましては、本第三者割当に係る取締役会決議日（以下「本取締役会決議日」という。）の直前営業日（2022 年 12 月 15 日）の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の終値 1,222 円といたしました。

本取締役会決議日の直前営業日の終値を基準といたしましたのは、算定時に最も近い時点の市場価格である本取締役会決議日の直前営業日の終値が、当社株式の現時点における公正な価格を算定するにあたって基礎とすべき合理的な価格であると考えたためです。

当該発行価格は、本取締役会決議日の直前 1 ヶ月間（2022 年 11 月 16 日から 2022 年 12 月 15 日まで）の終値の平均値である 1,295 円（円未満四捨五入）に対しては 5.64%のディスカウント、同直前 3 ヶ月間（2022 年 9 月 16 日から 2022 年 12 月 15 日まで）の終値の平均値である 1,260 円（円未満四捨五入）に対しては 3.02%のディスカウント、同直前 6 ヶ月間（2022 年 6 月 16 日から 2022 年 12 月 15 日まで）の終値の平均値である 1,741 円（円未満四捨五入）に対しては 29.81%のディスカウントとなります。

当該発行価格は、日本証券業協会の定める「第三者割当増資の取扱いに関する指針」（平成 22 年 4 月 1 日制定）に沿ったものであり、当社は、特に有利な発行価格には該当しないと判断しております。なお、本第三者割当にかかる取締役会決議日に出席した当社監査役 3 名（いずれも社外監査役、うち常勤監査役 1 名）全員より、当該発行価格は、当社株式の価値を表す客観的な指標である市場価格を基準にしており、日本証券業協会「第三者割当増資の取扱いに関する指針」にも準拠していることから、特に有利な発行価格には該当しない旨の意見を表明しております。

（2）発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当により、割当予定先に対して割り当てる株式数は 350,000 株であり、本第三者割当前の当社普通株式の発行済株式総数 2,200,412 株（2022 年 8 月 31 日現在）に対する割合は 15.91%（議決権総数 21,506 個（2022 年 8 月 31 日現在）に対する割合は 16.27%）に相当し、これにより一定の希薄化が生じます。しかしながら、本第三者割当により調達する資金は、2022 年 8 月期より進行中の新規タイトルの開発及び 2023 年 8 月期より開発開始予定の新規タイトルの開発費用に充当することで、事業戦略の一貫として今後の収益基盤の一つとなる新規タイトルの創出に繋げ、継続的な事業成長の足掛かりとし、企業価値の向上を目指すものであり、最終的に既存株主の利益向上に繋がるものと考えているため、本第三者割当による発行数量及び株式の希薄化の規模は合理的であると判断いたしました。

6. 割当予定先の選定理由等

(1) 割当予定先の概要 (2022年11月30日現在)

(1) 名称	Happy Elements 株式会社			
(2) 所在地	京都府京都市下京区東洞院通四条下ル元悪王子町 51 番地			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 CEO 新井 元基			
(4) 事業内容	モバイル向けゲームアプリの開発・運営			
(5) 資本金	50,000 千円			
(6) 設立年月日	2010 年 4 月			
(7) 大株主及び持株比率	Happy Elements Limited 100%			
(8) 当事会社間の関係	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	該当事項はありません。		
	取引関係	該当事項はありません。		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(9) 最近 3 年間の経営成績及び財政状態 (単位: 百万円。)				
	決算期	2019 年 12 月期	2020 年 12 月期	2021 年 12 月期
純	資 産	8,100	11,468	16,762
総	資 産	9,044	14,845	20,802
当 期	純 利 益	1,122	3,922	5,702

(注) 1. Happy Elements の経営成績及び財政状態等の一部情報については非公開情報のため記載しておりません。

2. 当社は、割当予定先、その役員及び主要株主が、暴力若しくは威力を用い、又は詐欺その他の犯罪行為を行うことにより経済的利益を享受しようとする個人、法人その他の団体（以下「特定団体等」という。）ではないこと、及び同社が特定団体等と何らの関係を有していないことについて、第三者調査機関である株式会社 JP リサーチ&コンサルティング（住所：東京都港区虎ノ門 3 丁目 7 番 12 号、代表取締役：古野啓介）に調査を依頼した結果、同社からは、割当予定先、その役員及び主要株主が反社会的勢力等や違法行為に関わりを示す該当情報が無い旨の調査報告書を 2022 年 12 月 6 日付で受領しており、その旨の確認書を東京証券取引所に提出しています。割当予定先、その役員及び主要株主が資金提供その他の行為を行うことを通じて特定団体等の維持、運営に協力若しくは関与している事実及び割当予定先、その役員及び主要株主が意図して特定団体等と交流を持っている事実は、当社の把握する限りありません。

(2) 割当予定先を選定した理由

前記「I. 本第三者割当による新株式発行 2. 募集の目的及び理由」に記載のとおりです。

(3) 割当予定先の保有方針

割当予定先である Happy Elements からは、本第三者割当による当社株式の取得は長期戦略的視点に立った保有方針によるものであり、短期的売買目的ではない旨を口頭で確認しております。

また、当社は、払込期日から 2 年間に於いて、割当予定先が本第三者割当により取得した当社普通株式の全部又は一部を譲渡した場合には、直ちに譲渡を受けた者の氏名及び住所、譲渡株式数、譲渡日、譲渡価格、譲渡の理由並びに譲渡の方法等の内容を当社に書面により報告すること、当社が当該報告内容を株式会社東京証券取引所に書面により報告すること、当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意することについて、割当予定先から払込期日までに確約書を取得する予定であります。

(4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

割当予定先における 2021 年 12 月期の決算公告に記載の当期純利益、利益剰余金、純資産の額、及び当社が割当予定先から受領した 2022 年 10 月 1 日～2022 年 11 月 30 日までの普通預金口座の入出金明細及び残高証明書を確認しております。

以上より、割当予定先において本第三者割当の払込みに必要かつ十分な現金及び預金を有していることを確認しており、その後かかる財務内容が大きく悪化したことを懸念させる事情も認められないことから、同社による本第三者割当の払込みに関して確実性があるものと判断しております。

7. 第三者割当後の大株主及び持株比率

募集前 (2022年12月15日現在)		募集後	
常川友樹	17.43%	常川友樹	14.99%
石川篤	10.46%	Happy Elements 株式会社	13.99%
西條晋一	6.97%	石川篤	8.99%
久手堅憲彦	4.88%	西條晋一	6.00%
ユナイテッド株式会社	4.20%	久手堅憲彦	4.20%
LINE Ventures Japan 有限責任事業組合	2.79%	ユナイテッド株式会社	3.61%
株式会社海外需要開拓支援機構	2.35%	LINE Ventures Japan 有限責任事業組合	2.40%
NVCC8 号投資事業有限責任組合	2.01%	株式会社海外需要開拓支援機構	2.02%
楽天証券株式会社	1.86%	NVCC8 号投資事業有限責任組合	1.73%
ワンダープラネット従業員持株会	1.76%	楽天証券株式会社	1.60%

- (注) 1. 2022年8月31日現在の株主名簿を基に、2022年12月15日現在の大量保有報告書等により株式の異動が確認できたものを反映した株主を記載しております。
 2. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除し、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。
 3. 当社は、自己株式48,632株(2022年8月31日現在)を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

8. 今後の見通し

本第三者割当が、2023年8月期の当社業績に与える影響は軽微となっております。

なお、2023年8月期の業績予想につきましては、近年の世界のモバイル向けゲーム市場を取り巻く競合環境の変化が以前にも増して著しく、既存運営タイトルの業績動向を精緻に予測することがより困難であること、2023年8月期に大きく業績貢献を見込む「アリスフィクション」はリリース直後であり年間を通した売上高や費用を合理的に見通すことが困難であること等により、会社全体での合理的かつ信頼性のある業績予想の策定及び公表が困難であると考え、非開示としております。期間の経過等により、適正かつ合理的な業績予想を行うことが可能になり次第、業績予想を速やかに開示することといたします。

9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本第三者割当は、①希薄化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、株式会社東京証券取引所の定める上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績 (単位：千円。特記しているものを除く。)

	2020年8月期	2021年8月期	2022年8月期
売上高	3,433,893	3,585,606	3,422,040
営業利益又は営業損失(△)	332,950	260,618	△1,272,138
経常利益又は経常損失(△)	331,997	261,057	△1,291,273
当期純利益又は当期純損失(△)	224,235	825,457	△1,887,307
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)(円)	110.87	397.24	△876.24
1株当たり配当金(円)	—	3.50	—
1株当たり純資産(円)	△2,535.82	1,080.25	198.84

- (注) 1. 2020年8月期は連結決算、2021年8月期及び2022年8月期は非連結決算です。
 2. 2020年8月期及び2022年8月期においては配当を実施していないため、「1株当たり配当金」については記載していません。
 3. 2020年8月期の1株あたりの純資産額については、A種優先株式、B種優先株式、C種優先株式、D種優先株式、E種優先株式、F種優先株式及びG種優先株式に優先して配分される

残余財産額を純資産の部の合計額から控除して算定しており、計算結果はマイナスとなっております。なお、2021年2月25日開催の取締役会においてA種優先株式、B種優先株式、C種優先株式、D種優先株式、E種優先株式、F種優先株式、G種優先株式のすべてにつき、定款に定める取得条項に基づき取得することを決議し、対価として普通株式を交付しております。また、当社が取得したA種優先株式、B種優先株式、C種優先株式、D種優先株式、E種優先株式、F種優先株式、G種優先株式は、会社法第178条に基づきすべて消却しております。

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況 (2022年8月31日現在)

	株 式 数	発行済株式数に対する比率
発 行 済 株 式 数	2,200,412 株	100%
現時点の転換価額 (行使価額) における 潜 在 株 式 数	212,784 株	9.67%
下限値の転換価額 (行使価額) における 潜 在 株 式 数	－株	－%
上限値の転換価額 (行使価額) における 潜 在 株 式 数	－株	－%

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	2020年8月期	2021年8月期	2022年8月期
始 値	－円	4,115 円	1,950 円
高 値	－円	5,490 円	3,910 円
安 値	－円	1,825 円	985 円
終 値	－円	1,940 円	1,589 円

(注) 2021年8月期の株価については、上場日である6月10日以降の株価を記載しております。

② 最近6か月間の状況

	2022年 7月	2022年 8月	2022年 9月	2022年 10月	2022年 11月	2022年 12月
始 値	2,630 円	2,841 円	1,595 円	1,243 円	1,174 円	1,345 円
高 値	3,910 円	3,030 円	1,718 円	1,425 円	1,873 円	1,370 円
安 値	2,055 円	1,565 円	1,151 円	1,002 円	1,120 円	1,150 円
終 値	2,891 円	1,589 円	1,256 円	1,179 円	1,342 円	1,222 円

(注) 2022年12月については、2022年12月15日までの状況です。

③ 発行決議日前営業日における株価

	2022年12月15日
始 値	1,204 円
高 値	1,269 円
安 値	1,200 円
終 値	1,222 円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

・公募による新株式発行(新規上場時)

(1) 払 込 期 日	2021年6月9日
(2) 調 達 資 金 の 額	110,760 千円 (差引手取概算額)
(3) 発 行 価 額	2,355.20 円

(4)	募集時における発行済株式数	2,099,412株
(5)	当該募集による発行株式数	50,000株
(6)	募集後における発行済株式総数	2,149,412株
(7)	割当先	一般募集
(8)	発行時における当初の資金使途	① 新規開発タイトルに係る人件費・外注費として142,000千円 ② 借入金返済の一部として34,500千円 残額は、将来における新規開発やユーザー獲得等の当社事業の成長に寄与する支出または投資に充当
(9)	発行時における支出予定時期	① 2021年8月期：65,500千円、2022年8月期：76,500千円 ② 2021年8月期：34,500千円
(10)	現時点における充当状況	① 上記の支出予定時期に全額充当済み。 ② 上記の支出予定時期に全額充当済み。

・オーバーアロットメントの売出しに係る第三者割当による新株式発行

(1)	払込期日	2021年7月12日
(2)	調達資金の額	66,418千円（差引手取概算額）
(3)	発行価額	2,355.20円
(4)	募集時における発行済株式数	2,149,412株
(5)	当該募集による発行株式数	28,300株
(6)	募集後における発行済株式総数	2,177,712株
(7)	割当先	大和証券株式会社
(8)	発行時における当初の資金使途	上記「・公募による新株式発行(新規上場時) (8) 発行時における当初の資金使途」を参照
(9)	発行時における支出予定時期	上記「・公募による新株式発行(新規上場時) (9) 発行時における支出予定時期」を参照
(10)	現時点における充当状況	上記「・公募による新株式発行(新規上場時) (10) 現時点における充当状況」を参照

(注) 発行時における当初の資金使途、発行時における支出予定時期、現時点における充当状況については、公募による新株式発行（新規上場時）とオーバーアロットメントの売出しに係る第三者割当による新株式発行の合算ベースで記載しております。

11. 発行要項

(1)	発行新株式数	当社普通株式 350,000株
(2)	発行価額	1株につき1,222円
(3)	発行価額の総額	427,700,000円
(4)	資本組入額	1株につき611.00円
(5)	資本組入額の総額	213,850,000円
(6)	募集又は割当方法	第三者割当の方法による
(7)	申込期日	2023年1月4日
(8)	払込期日	2023年1月5日
(9)	割当予定先及び割当予定株式数	Happy Elements 株式会社：普通株式 350,000株
(10)	その他	上記各項については、金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力発生を条件とします。

II. 主要株主の異動

1. 異動予定年月日

2023年1月5日（予定）

2. 異動が生じる経緯

本第三者割当による新株式発行に伴い、Happy Elements は当社の議決権の 14.00%を保有することとなるため、Happy Elements は新たに当社の主要株主となることを見込まれます。また、本第三者割当に伴う発行済株式総数の増加により、石川篤氏が当社の主要株主に該当しなくなることが見込まれます。

3. 異動する株主の概要

（1）新たに主要株主に該当するもの

本第三者割当により新たに当社の主要株主となることを見込まれる Happy Elements の概要は、前記「I. 本第三者割当による新株式発行 6. 割当予定先の選定理由等 （1）割当予定先の概要」に記載のとおりです。

（2）新たに主要株主に該当しなくなるもの

① 氏名	石川 篤
② 住所	東京都世田谷区

4. 異動前後における当該株主の所有する議決権の数及び総株主の議決権の数に対する所有割合

（1）新たに主要株主に該当するもの（Happy Elements 株式会社）

	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の数 に対する割合	大株主順位
異動前 (2022年12月16日)	0個 (0株)	0%	—
異動後 (2023年1月5日)	3,500個 (350,000株)	14.00%	2位

（2）新たに主要株主に該当しなくなるもの（石川 篤）

	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の数 に対する割合	大株主順位
異動前 (2022年12月16日)	2,250個 (225,000株)	10.46%	2位
異動後 (2023年1月5日)	2,250個 (225,000株)	9.00%	3位

（注）1. 「総株主の議決権の数に対する所有割合」は、2022年8月31日現在の総株主の議決権の数 21,506個を基準として計算しております。

同日現在の発行済株式総数

2,200,412株

議決権を有しない株式として発行済株式総数から控除した株式数

49,812株

同日現在の議決権の総数

21,506個

2. 持株比率は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

5. 今後の見通し

今回の主要株主の異動による業績への影響はありません。

以 上